＜乾式清掃＞トイレ用床材

タフレスト

施　工　要　領　書

シンコール株式会社

タフレスト施工要領書

本施工要領書は、乾式（ドライ）清掃対応の防汚性トイレ用ビニル床シート『タフレスト』を施工する為のものであり、明記されていない施工法の発生並びに止むを得ず記載事項の変更を要する場合には、随時検討、対処するものとする。

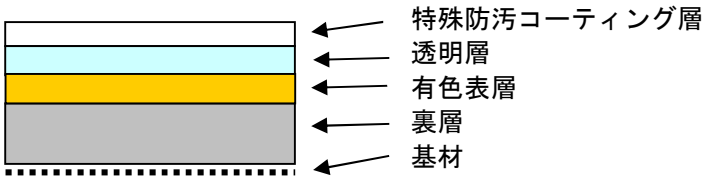
１．材料規格

１）主材料

(1) 寸法及び規格

一般名称	ビニル床シート　ＦＳ（JIS A 5705）
寸法	2.0mm×1,820mm×9m
梱包	9m/巻
重量	3.1kg/m^2

(2) 材質と構造



塩化ビニル樹脂を主成分とし、可塑剤、安定剤、充填材及び着色剤にて構成された軟質のビニル床シートの表面に特殊防汚コーティングした防汚性ビニル床シート。

２）副資材

(1) 下地補修剤
下地に凹凸、穴などがある場合は、下地補修剤≪ロンフロー≫を用いて補修する。
※ロンフロー：ポルトランドセメント、特殊合成樹脂、特殊充填材からなる樹脂モルタル

(2) 下地調整剤（プライマー）
下地表面に粉立ちがある、下地強度が弱い場合には、下地処理剤≪ロンプライマーＵ≫を塗布する。
※ロンプライマーＵ：ウレタン樹脂系（脱ＢＴＸ対応）

(3) 接着剤
〇耐水工法
・ＥＰシングルウレタン：ウレタン樹脂系溶剤形（JIS F☆☆☆☆）
・ＥＰシングルウレタン２０００：ウレタン樹脂系溶剤形（JIS F☆☆☆☆）
・ＥＰ－９９０：エポキシ樹脂系（JIS F☆☆☆☆）

(4) 目地処理剤
タフレストの目地処理は、専用溶接棒による熱風溶接を行う。
※目地処理部は防汚コーティングされていない為、床シート部分と比較して耐汚染性は劣るので注意する。

(5)巾木

・シンコールソフト巾木（短尺巾木）　Rあり、Rなしタイプ（先づけ用）
・シンコールソフト巾木・木目（短尺巾木）　Rあり
・ウッディロール巾木（長尺巾木）　Rあり
・ささら巾木　階段ささら用
・ワイド巾木（プレーン、木目）　（300㎜）
・ウッディワイド巾木　（300㎜）

(6)端部シーリング材

シート端部のシーリングは、下記のシーリング材により止水処理を行います。

〇平場の端部や排水口との取り合いには

⇒エルズシーラー：エポキシ樹脂系二液形（2kg缶（主剤・硬化剤セット））

エルズシーラーの色対応表

マーブル

床材	TR3602	TR3603	TR3607	TR3605	TR3606	TR3608	TR3601	TR3604
色番	ME-13	TS-7	TS-9	ME-19	ME-212	TS-6	TS-7	ME-62

ウッド

床材	TR3611	TR3612	TR3613
色番	TN-4019	ME-52	ME-205

※同系色となります

２．工法

工法	耐水工法
下地	コンクリート・モルタル下地
下地調整	ロンプライマーＵ（ウレタン樹脂系プライマー）
接着剤	・ＥＰシングルウレタン（ウレタン樹脂系溶剤形） ・ＥＰシングルウレタン２０００（ウレタン樹脂系溶剤形） ・ＥＰ－９９０（エポキシ樹脂系）
目地処理	専用溶接棒による熱風溶接工法
端部処理	・エルズシーラーによるシーリング工法及びシリコーン系弾性シーリング工法 ・カラーライト充填による出隅処理工法

※下地表面に粉立ちがある、下地強度が弱い場合には、下地処理剤≪ロンプライマーＵ≫を塗布する。

３．施工手順

タフレストの施工は次の手順で行う。

１）材料の搬入・保管

①保管場所は前もって清掃し、砂や砂利などが無いようにする。
②床シートは梱包を解かずに、平坦な場所にまっすぐ立てて保管する。
　どうしても横置きにしなければならない場合は、積み重ね（俵積み）は避けて平置きとし、出来るだけ短期間で済むように配慮する。
③運搬及び搬入時には、落としたり、ぶつけたりして破損させないように取り扱いには注意する。
④より美しく仕上げる為に仮敷き養生を１日以上行い、巻き癖などを取り除く。

※端部が割れる恐れがあるので、立てかけたり横置きする際には衝撃を与えないようにする。

２）下地の調整

施工の前に、下地面を平滑に仕上げ、下地の乾燥を十分に行い、粉立ちが無い事・表面強度が十分である事を確認する。

①下地に凹凸、穴などがある場合は下地補修剤≪ロンフロー≫を用いて補修する。
②下地に塵埃、モルタル滓、油、塗料などが付着していないかを確認し、付着している場合には、除去、清掃する。
③下地表面に粉立ちがある場合や下地表面強度が弱い場合には、下地処理剤≪ロンプライマーＵ≫を塗布する。
④下地コンクリートは十分乾燥させる。高周波水分計（ケット水分計）で測定して、8%以下とする。

３）隅出し、荒切り

床シートの割り付け方法に従って床面に割り付け線を引く。この割り付け、墨出しで考慮する点は、部屋の入り口部分に継ぎ目が出来ないよう、デザイン柄の方向性などの美観にも注意する。

①継目処理を間違いなく行う為に、床シート同士の重なり巾を 20㎜～30㎜ 余分に取り、敷き並べる。
②端部は 50㎜ 程度余分に荒切りする。

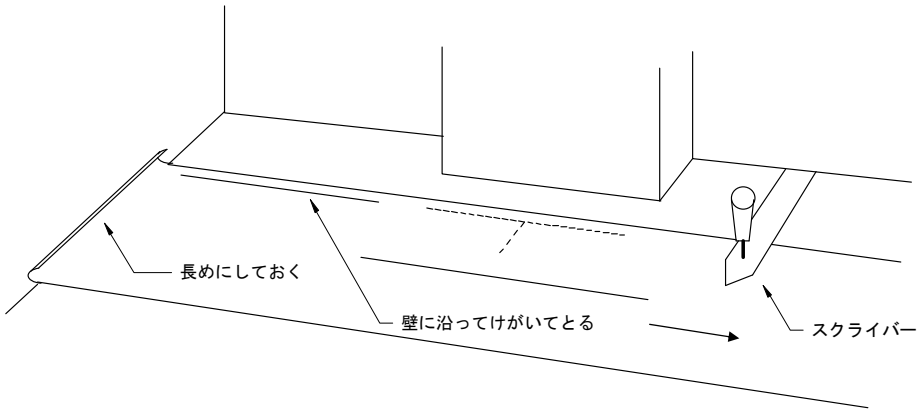
※チョークの粉に含まれる染料（赤、黄、青など）で床シートが汚染することがありますので、チョークリールを使用の際は必ず白チョーク粉を使用する。

４）仮敷き

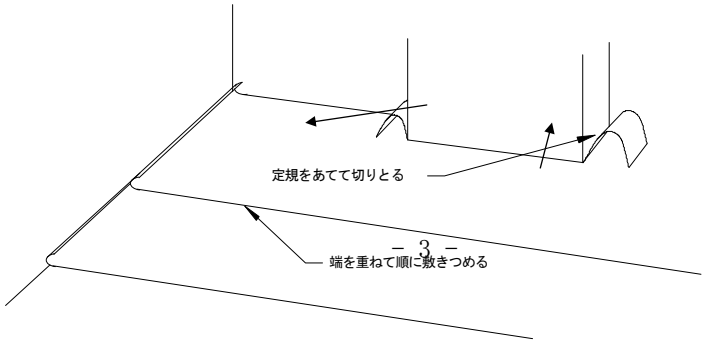
施工に先立ち、荒切りした床シートを広げて必ず仮敷き養生を行い、材料を安定させる。
※割れが発生する可能性があるので、荒切りから張り込みまで、床シートの角（ツノ）出しを起こさないように十分に注意して取り扱う。

５）寸法決め

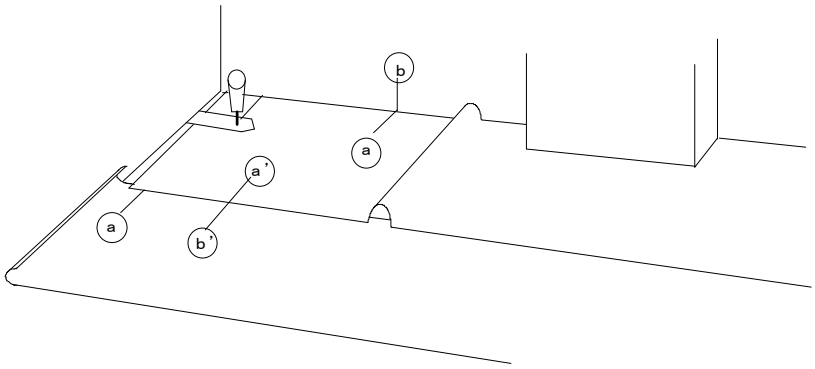
①部屋の周りの寸法決めは巾定規またはスクライバーを使用し、壁面に沿って床シートに印を付ける。直線の壁面部分は、ウォールトリマーを用いてカットする。



②次に印に沿ってナイフで切り取り、壁面に納める。



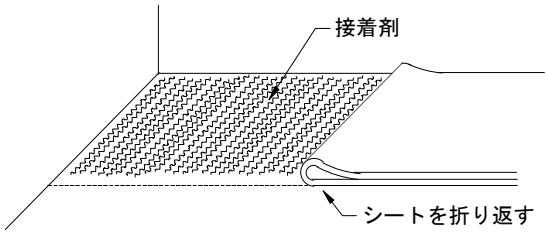
③また、短辺方向の端部は下図のように巾定規またはけがき棒を用いて、床シート上に a-a' と壁面 b、床面 b' と印を付ける。 次に a－b、a' －b' 分だけずらして、a－b、a' －b' を合わせる。

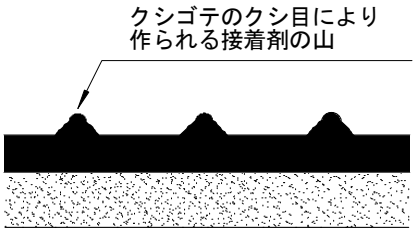


④次にけがき棒で壁に沿って印を付け、その印に沿ってナイフで切り取る。

６）接着剤の塗布

①接着剤成分が分離している場合がありますので、使用前には必ず攪拌する。
また、二液形である≪ＥＰ－９９０≫を使用する場合は、混合及び攪拌は特に入念に行う。
②床シートを巾方向または長手方向に折り返して、下地表面を再度清掃する。
③指定の接着剤を所定のくし目ゴテを用いて、均一に塗布する。





④オープンタイムは、接着剤の種類、下地の状態、気温、湿度及び風の有無などにより異なりますので、乾燥状態を確認して床シートを貼り付ける。
※オープンタイムが短すぎる場合は、溶剤の影響で施工後に床シートが伸びたり、フクレなどが発生する恐れがあるので注意する。
※オープンタイムが長すぎる場合は、床シートの収まりが悪くなり、接着強度が低下する恐れがあるので注意する。

●その他注意点（労働安全衛生法から）
有機溶剤による人体への健康障害を防止する為、溶剤形接着剤を使用する際にはガスの吸入や皮膚接触がないように注意する。詳しくは接着剤容器に記載の労働安全衛生法による注意点を良く確認する。

７）張り付けと圧着

①所定のオープンタイムをとった後に、エアーを巻き込まないように床シートを貼り付ける。
②しごき棒（角材にカーペットを巻き付けたもの）やコルク板などを用いて、エアー抜きを十分に行う。
③100 ポンド（約 45kg）加圧ローラーを用いて、接着剤のクシ目をつぶすように入念に圧着する。

８）目地処理

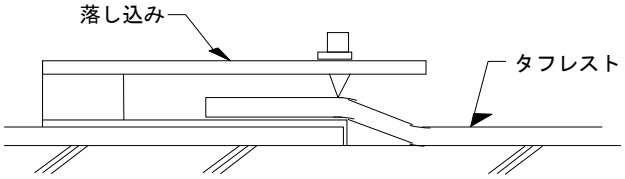
目地処理は接着剤による床シート貼り付け後 24 時間以降に行う。

熱風溶接工法

①ジョイント目地の収め

溶接工法の目地は突き付け目地とする。

落とし込み専用工具を用いて床シートにけがき線を入れて、けがき線に沿ってカットする。

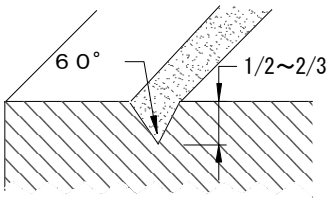


②ジョイント目地の圧着

下地と床シートが十分に接着するように、ハンドローラーにてジョイント目地を圧着する。

③ジョイント目地の溝切り

溝切りは必ずＶ字型またはＵ字型の溝切り機で行い、溝の深さは床シートの厚さの 1/2～2/3 程度とする。



④ジョイント目地の溶接

溶接には熱風溶接機を使用し、十分な熱量で溶接棒の頭をつぶしながら溶接する。

※溶接の際に使用するノズルは、目地両端の床シート表面に熱風が当たらないものを使用する。床シート表面に高温の熱風が当たるとシワが入る恐れがある。推奨品としては、第一に≪ライスター〝ウルトラ〞スピードノズル≫、第二に≪ソフトノズル≫または≪スーパーノズル≫とする。

推奨ノズル

ライスター〝ウルトラ〞スピードノズル	ソフトノズル／スーパーノズル

⑤溶接後の余盛りカット

溶接後の余盛りは、始めトリムガイドを使用しながらスパトラナイフでカットし、その後溶接棒が冷えてから再度スパトラナイフのみで平滑にカットする。

●その他注意点

目透かし目地は溶接強度が大幅に低下し後に溶接切れの原因となるので、絶対に避ける。

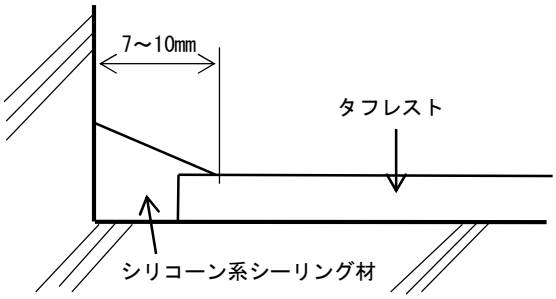
９）止水処理

止水処理は接着剤による床シート貼り付け後 24 時間以降に行う。

(1)端末の収め方

①壁との取り合い

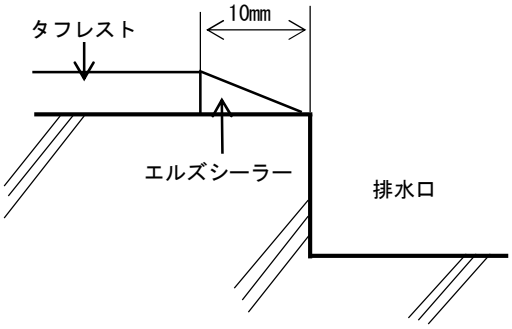
壁面から 5㎜ 程度離して施工します。スクライパーや巾定規などで壁面に合わせてシートにけがき、カットする。シリコーン系シーリング材でシーリングする。



②排水口との取り合い

排水口から 10㎜ 程度離して施工する。

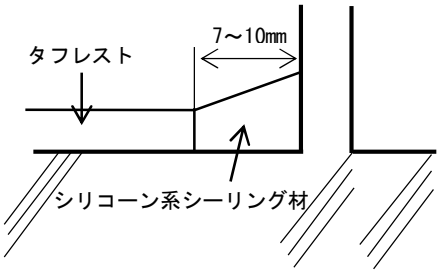
エルズシーラーでシーリングする。



③排水管との取り合い

排水管から 7㎜ 程度離して施工する。

シリコーン系シーリング材でシーリングする。



(2)端末の処理の手順

①目地の清掃

ゴミやホコリなどは取り除く。

②マスキングテープの貼付け

不要な部分へのシーリング材の付着を防ぐ為、マスキングテープを貼り付ける。

③シーリング材の充填

気泡を巻き込まないように注意しながら、コーキングガンで目地の底から充填する。

④ヘラでの表面仕上げ

充填後、速やかにヘラで表面を平滑にならす。

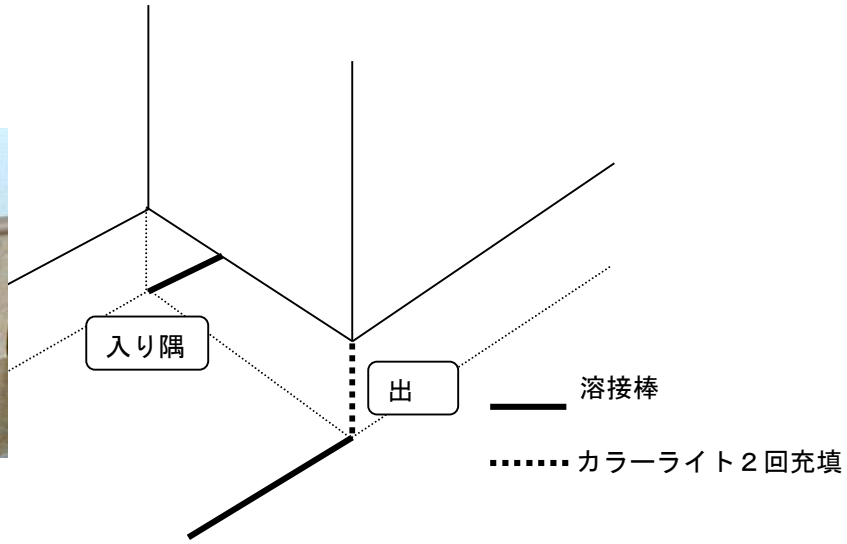
⑤マスキングテープの除去

表面を仕上げた後にマスキングテープをゆっくりと剥がす。

●その他注意点
※使用するシーリング材の取扱説明書を良く確認する。
※冬場などの低温時は硬化が遅くなりますので注意する。

１０）巻き上げ施工について

タフレストは巻き上げ施工の必要のない乾式（ドライ）清掃のトイレ用床材である。
タフレストを巻き上げ施工すると、出隅部分の防汚コーティング部分にヒビ割れが発生する恐れがある。
湿式（ウェット）清掃のトイレとして巻き上げ施工する場合は、図のような特殊な巻き上げ工法とする。



壁際の折り曲げ部はライスターまたはバーナーで床シートの裏面から加熱して温めてからゆっくり折り曲げる。出隅部は突き付け目地として床シートと同系色のカラーライトを充填する。目地痩せする為、２回充填する。

カラーライトの対応表

マーブル

床材	TR3602	TR3603	TR3607	TR3605	TR3606	TR3608	TR3601	TR3604
ｶﾗｰﾗｲﾄ	CC09	BD21	BC05	BA14	BB25	CE31	CC17	BC17

ウッド

床材	TR3611	TR3612	TR3613
ｶﾗｰﾗｲﾄ	AB15	BA14	AA04

１１）その他

※タフレストの冬期施工・低温環境施工について

タフレストは表面に特殊材料を使用している為、冬期や低温環境において床シートが硬くなり、施工し難くなることがある。その場合は、ジェットヒーター等で作業環境温度を上げるか、トーチバーナー等で床シートを温めてから施工を行うようにする。

以上